

## ＜調査結果報告＞

### 「新型コロナウイルス感染拡大による県内企業への影響調査(第4弾)」結果 ～自動車関連、観光・宿泊など復調。回復で雇調金の利用低下～

弊社では、新型コロナウイルス感染拡大による三重県内企業の事業活動への影響を把握するため、3月、5月、7月に続いて11月に、県内企業に緊急アンケート(第4弾)を実施し、195社からの回答結果をとりまとめた。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

調査では、マイナスの影響が出ている企業や雇用調整助成金を利用している企業の割合が低下し、従業員を増やした企業の割合が上昇するなど、一部の企業では持ち直しの動きがみられた。とくに自動車関連や観光・宿泊などで復調の動きが顕著にみられた。ただし、年末より都市圏を中心に感染が再拡大する中、GoTo 事業再開の目途が立っていないなど、今後については不透明感が漂う。

#### 【調査結果の概要】

- |   |     |
|---|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>新型コロナウイルスの感染拡大により、自社の事業活動に「現時点でマイナスの影響が出ている」と回答した企業は58.5%となり7月調査時点(63.7%)を下回った。</u></li> </ul>  | p.3 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>一方、「現時点も今後も特段の影響はない」は14.9%となり7月(9.2%)より上昇。その内訳をみると「以前は影響があったが現時点・今後ともに特段の影響はない」が51.7%となり、マイナスの影響が解消した企業があることがうかがえる。</u></li> </ul>  | p.3 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>現時点で出ている影響と今後想定される影響の内容については、「受注・販売数量、売上の減少、予約のキャンセル」が最も高く、5月調査以降、8割強で推移している。7月調査時点よりとくに上昇したのは「人手不足」で、観光・宿泊、建設、小売などで回答が目立った。</u></li> </ul>   | p.4 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>雇用状況の変化についてみると、「雇用調整助成金を利用し、雇用の維持を図っている(申請中・検討中含む)」は19.0%となり、7月(34.9%)より大きく低下した。一方、「雇用調整助成金を利用していたが、(事業の回復により)現在は利用していない」は14.4%となり、「従業員を増やした」は11.3%に上昇するなど、一部の企業では持ち直しの動きがみられた。なお、「雇用調整助成金を利用していたが、(事業の回復により)現在は利用していない」企業は、観光・宿泊、輸送用機械器具製造業などで目立った。</u></li> </ul>   | p.6 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ <u>受注・売上が増減している品目・サービスをみると、自動車関連の復調が際立った。米中の旺盛な新車需要や、国内の新型車の販売好調などを背景に、様々な業種で自動車向けの部品や機器、配送などの受注・生産が前年並みあるいは前年を上回る水準まで回復し、今後も回復の継続を見込む企業が多くみられた。また、観光・宿泊や飲食サービスでは、GoTo トラベルやGoTo イート等の効果により、10月、11月の客数や売上が前年を上回ったり、高単価商品が売れるなどの企業がみられた。それらの業種と取引のある食料品製造業や運輸業の企業でも関連商品等の売上が伸びている。また、巣ごもり需要は継続しており、スーパー向け商品、生活雑貨、おせち商品、家庭用ガス、web 会議用機材やPCなどが伸びている。</u></li> </ul> | p.8 |

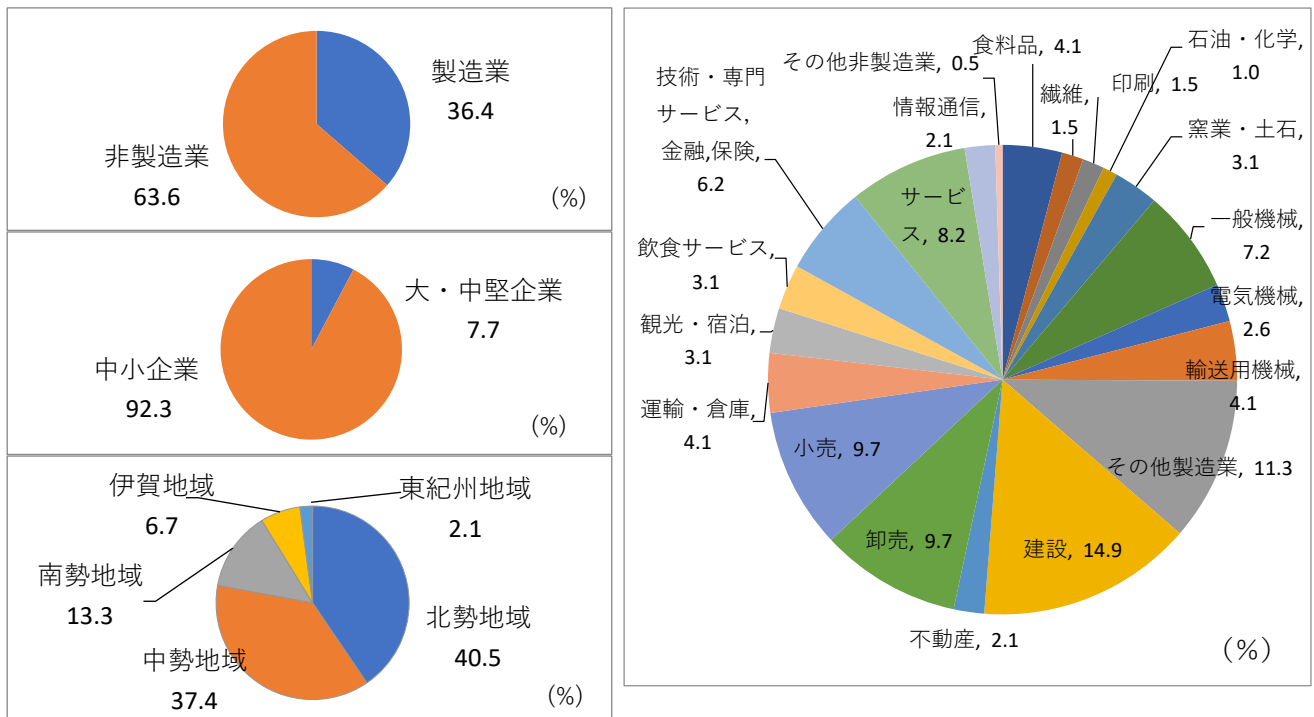
【担当】株式会社百五総合研究所 コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上(たにのうえ)  
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

## 【調査の概要】

- 調査回答数：三重県内の事業所 195 社
- 調査時期：2020 年 11 月 17 日～11 月 24 日
- 回答方法：web 回答

## 【回答企業の属性】

### ◆業種別、規模別、地域別



※ 資本金 1 億円以上を「大・中堅企業」、資本金 1 億円未満＋個人事業を「中小企業」と定義。

### ◆業種別回答数・割合

		(件)	(%)			(件)	(%)
製造業		71	36.4	非製造業		124	63.6
1	食料品製造業	8	4.1	10	建設業	29	14.9
2	繊維工業	3	1.5	11	不動産業	4	2.1
3	印刷業	3	1.5	12	卸売業	19	9.7
4	石油・化学工業	2	1.0	13	小売業	19	9.7
5	窯業・土石製品製造業	6	3.1	14	運輸業・倉庫業	8	4.1
6	一般機械器具製造業	14	7.2	15	観光・宿泊	6	3.1
7	電気機械器具製造業	5	2.6	16	飲食サービス業	6	3.1
8	輸送用機械器具製造業	8	4.1	17	技術・専門サービス業, 金融業, 保険業	12	6.2
9	その他製造業	22	11.3	18	サービス業	16	8.2
				19	情報通信業	4	2.1
				20	その他非製造業	1	0.5
				合計		195	100.0

## 【調査結果】

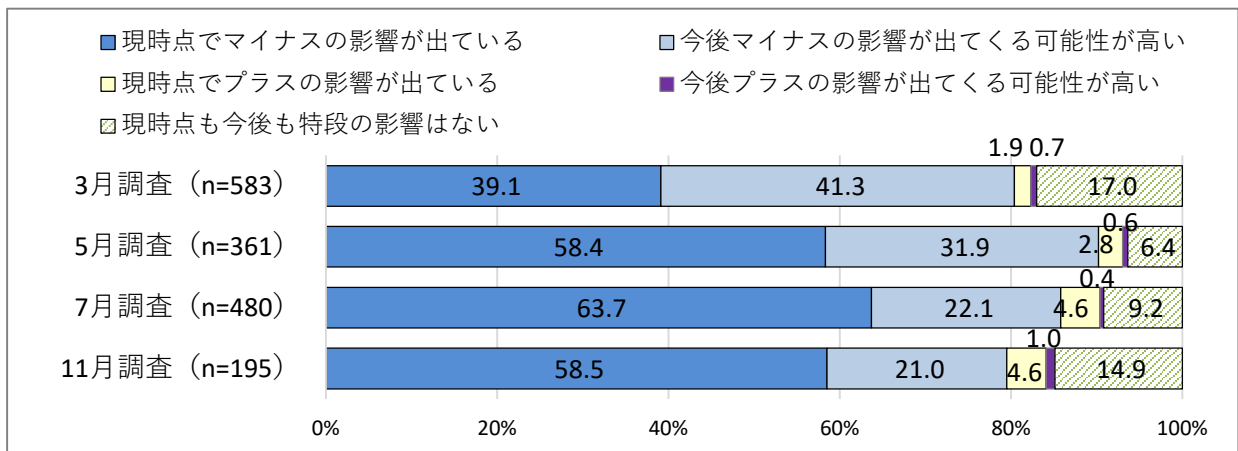
### 1. 自社の事業活動への影響の有無

新型コロナウイルスの感染拡大による自社の事業活動への影響について、「現時点でマイナスの影響が出ている」が58.5%、「今後マイナスの影響が出てくる可能性が高い」が21.0%となり、いずれも7月より低下した。

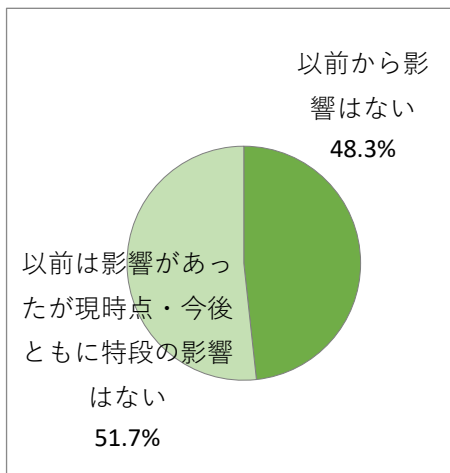
一方、「現時点も今後も特段の影響はない」が14.9%となり7月より上昇した。その内訳をみると、「以前から影響はない」が48.3%、「以前は影響があったが現時点・今後ともに特段の影響はない」が51.7%となり、マイナスの影響が解消した企業があることがうかがえる。

※ プラス・マイナス両方の影響がある場合は、より影響の大きい方を回答している。

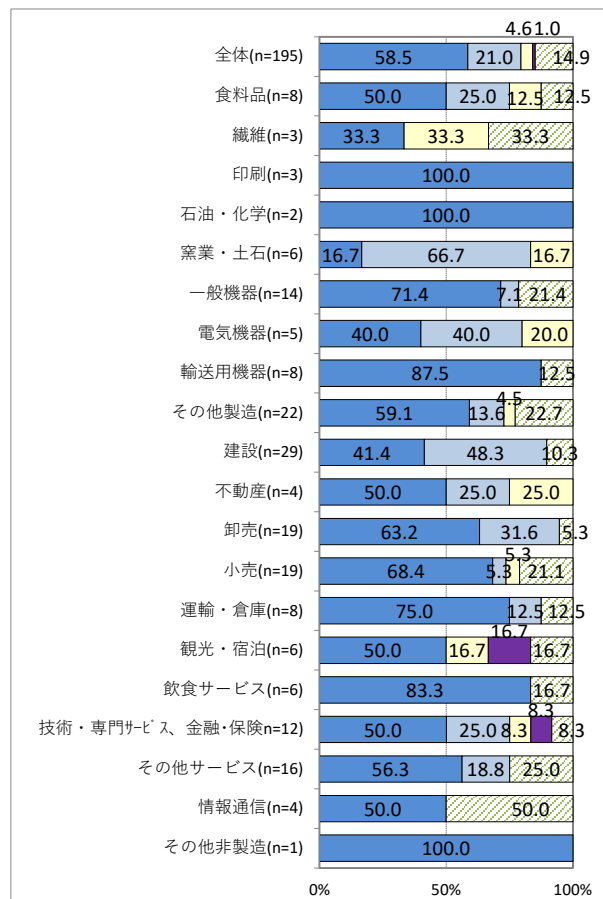
#### ■ 自社の事業活動への影響の有無



#### ■ 「現時点も今後も特段の影響はない」の内訳



(※参考：自社の事業活動への影響の有無<業種別>)



※サンプル数が少ないため業種別は参考。

## 2. 自社の事業活動への影響の内容

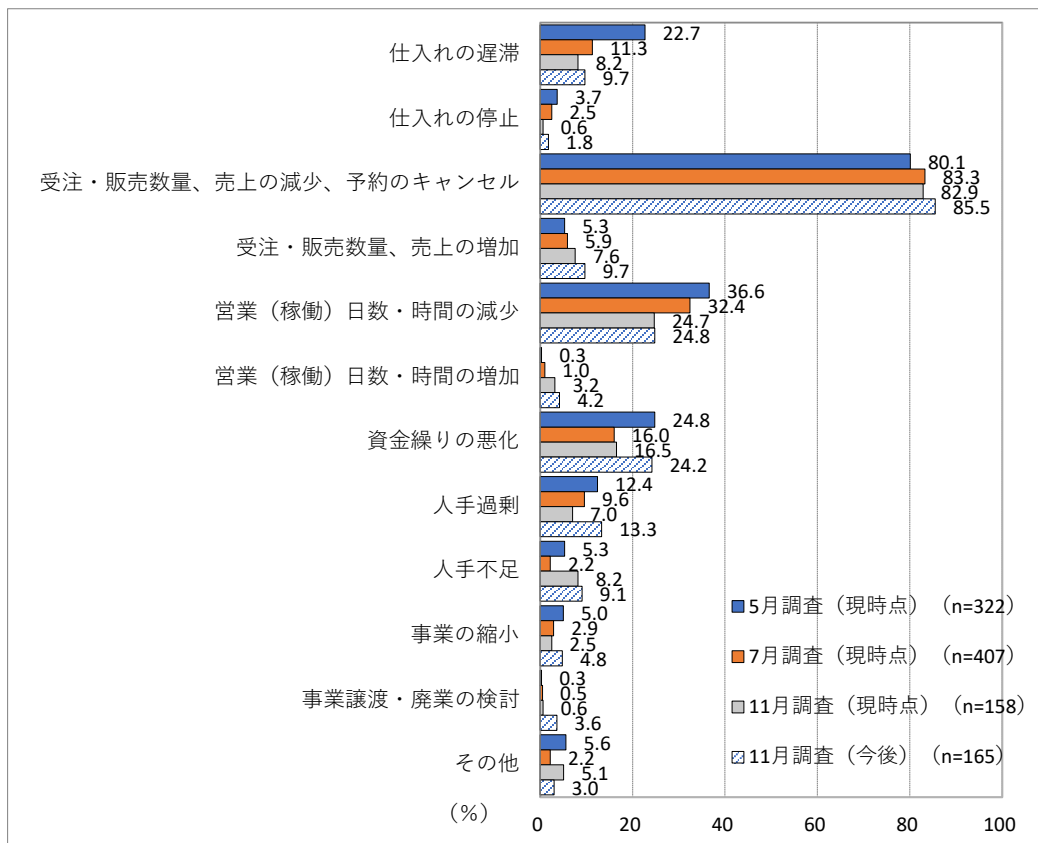
現時点で既に出ている影響と今後想定される影響の内容についてみると、現時点・今後ともに割合が最も高いのは「受注・販売数量、売上の減少、予約のキャンセル」（現時点 82.9%、今後 85.5%）となり、5月以降、8割強で推移している。

次いで高いのは「営業（稼働）日数・時間の減少」（現時点 24.7%、今後 24.8%）で、5月・7月よりは低下したものの約4分の1の企業では営業（稼働）が依然減少している。

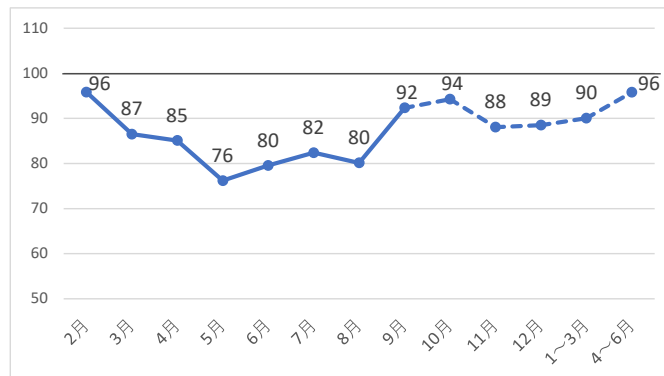
7月よりとくに上昇したのは「人手不足」（現時点 8.2%、今後 9.1%）で、観光・宿泊、建設、小売などでは複数の企業がこの影響を挙げた。一方、「人手過剰」（現時点 7.0%、今後 13.3%）は、製造業を中心にとくに今後を懸念する割合が高くなった。

また、「資金繰りの悪化」（現時点 16.5%、今後 24.2%）は、現時点は7月と同程度にとどまったが、今後の割合は高まり、製造業の3割、非製造業の約2割がこの影響を懸念している。

### ■影響の内容（複数回答）



（※参考：売上高（対前年同月比）の推移）（前年同月=100、20年2月～21年4-6月）

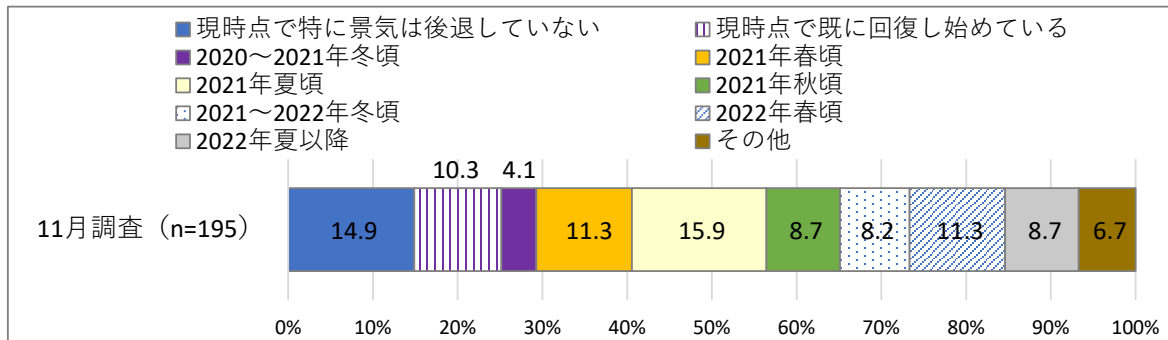


※9月以降の数値は11月調査による。

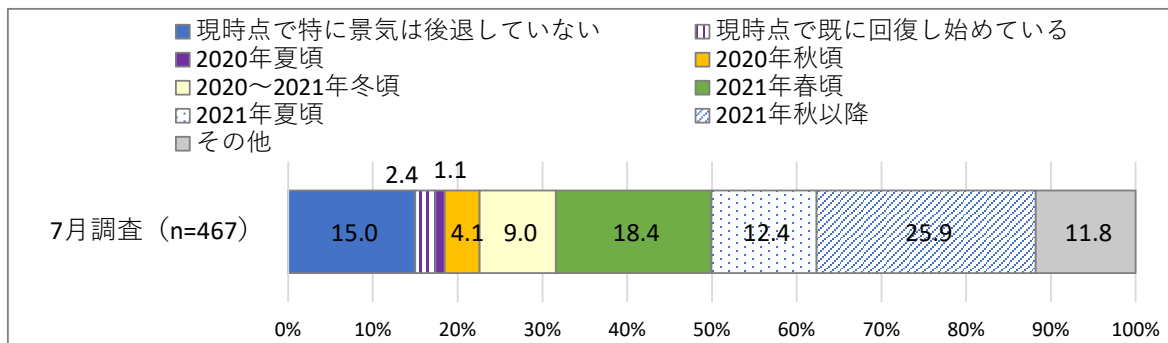
### 3. 業況の回復時期（見込み）

自社の属する業種の景気が、新型コロナ前の水準に回復する時期（見込み）については、「現時点で特に景気は後退していない」は14.9%で7月と同程度となったが、「現時点で既に回復し始めている」が10.3%となり、7月より大きく上昇した。最も高いのは「2021年夏頃」の15.9%となったが、回答は7月よりもばらつきが目立ち、感染が再拡大するなか先行きが見通しにくい状況にあることがうかがえる。

#### ■業況の回復時期（見込み）



(※参考：7月調査結果)

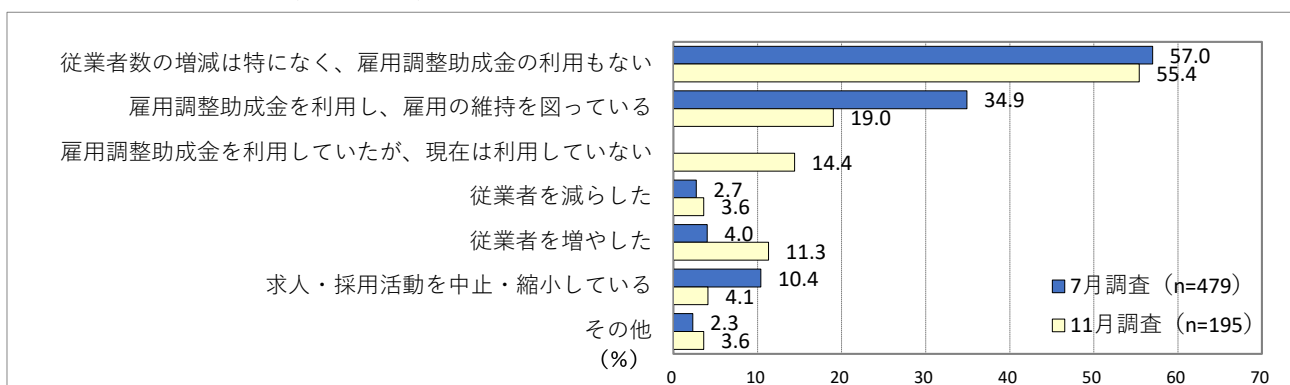


#### 4. 雇用状況の変化

新型コロナウイルス感染拡大の影響による、雇用状況の変化についてみると、「雇用調整助成金を利用し、雇用の維持を図っている（申請中・申請検討中を含む）」は19.0%となり、7月より大きく低下した。一方、「雇用調整助成金を利用していたが、（事業の回復により）現在は利用していない」（※11月新規項目）が14.4%となり、「従業員を増やした」は11.3%に上昇、一部の企業では持ち直しの動きがみられた。

「雇用調整助成金を利用していたが、（事業の回復により）現在は利用していない」企業の割合は、とくに観光・宿泊（66.7%）や輸送用機械器具製造業（50.0%）で高くなった。また、従業員を増やした企業は、観光・宿泊や建設業などで目立った。

##### ■雇用状況の変化（複数回答）

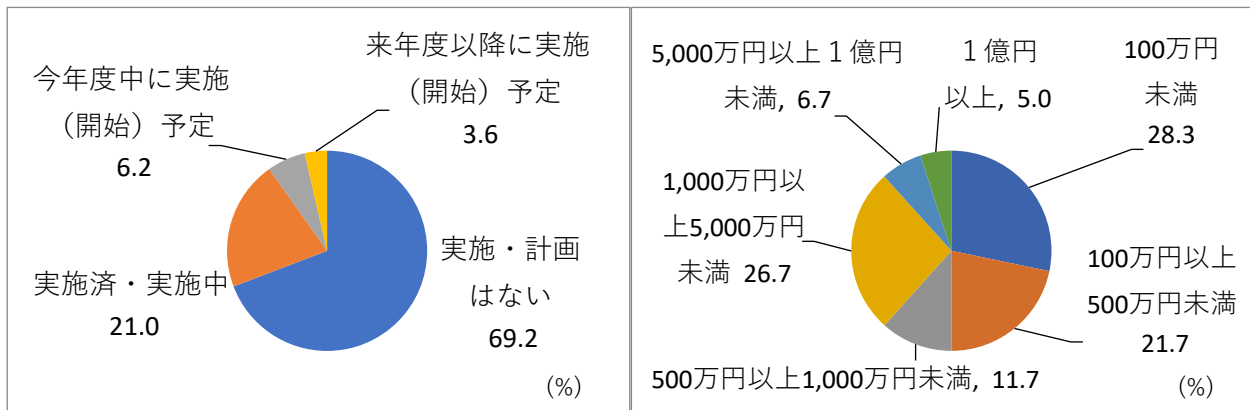


## 5. コロナ感染拡大の影響を受けて実施・計画した設備投資

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて実施・計画した設備投資について、「実施済・実施中」が約2割、「今年度中に実施（開始）予定」と「来年度以降に実施（開始）予定」が合わせて約1割となり、合計3割の企業がコロナ禍の影響を受けて設備投資を実施・予定していると回答した。

設備投資額は、「100万円未満」が28.3%で最も高く、次いで「1,000万円以上5,000万円未満」が26.7%と高くなった。また、約半数の企業が「500万円以上」の設備投資を実施・予定している。

### ■コロナ感染拡大の影響を受けて実施・計画した（する）設備投資



### ◆コロナ感染拡大の影響を受けて実施・計画した設備投資の内容（自由記述より）

- ・ 空調機器、換気扇。（食料品）
- ・ マスク生産設備。（繊維）
- ・ 巣ごもり消費でアミューズメント製品等の需要拡大。製造ラインを自動化。（電気機器）
- ・ 医療用機器部品の量産対応。（樹脂製品製造）
- ・ 新商品開発（熱中症対策仕様の保冷剤入り感染防止マスク向け製品）。（その他製造）
- ・ 事務所、商談室の拡張、改築。パーティション設置。（不動産、小売、技術・専門サービス）
- ・ 高精度サーモグラフィカメラ設置。全館光触媒コーティング。（観光・宿泊）
- ・ 消毒用アルコール設置、非接触型検温計の設置、マスク配付・常備。
- ・ テレワーク、web会議、ネット販売、HP構築など、社内インフラ・設備機器の整備・導入。



◆新型コロナウイルスの影響を踏まえ、現時点で受注や売上が増減している品目・サービス、今後の増減を見込む品目・サービス（自由記述より）

いずれも前年と比べて、あるいは2020年の低調だった時期と比べた水準で回答。（※11月調査時点）

【増加】：現時点で、受注・売上（又は問い合わせなど客の関心）が前年よりとくに増加して（伸びて）いる品目・サービス

【減少も回復】：受注・売上が前年より減少した品目・サービスのうち、現時点でとくに回復してきている品目・サービス

【減少】：現時点で、受注・売上が、前年よりとくに減少している（2020年の低調な時期よりほとんど回復していない）品目・サービス

【今後増加】：今後、受注・売上が増加する（関心が高まる）、回復するとみている品目・サービス

【今後減少】：今後、受注・売上が減少する、回復しないとみている品目・サービス

業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少
食料品製造業	醤油加工品等の調味料が5%増加。巣ごもりで家庭内需要増。	テイクアウト等を実施する一部得意先では業務用調味料が回復。	外出自粛とイベント中止で、土産やギフト製品の需要減。	GoToイートで業務用食品は緩やかに回復。	団体旅行は厳しく、土産は回復に時間。
	スーパー向けパック卵。スーパー向け菓子製造業者向けの液卵。		飲食店向け鶏卵		飲食店・宿泊向け鶏卵
	一般消費者向けのコメが前年比200%	外食、観光		個人、一般消費者	老人保健施設など
		GoToの影響で7~10月はソフトクリームシロップが回復。	空港の土産用製品	GoToの影響と、暖かくなり感染者数が落ち着けば、ソフトクリームシロップは回復。	空港の土産用製品
繊維工業	今年始めたマスクの販売がかなり好調。	婦人アパレルのカジュアルゾーンはほぼ100%回復。	婦人アパレルのフォーマルは90%減。		フォーマルウェア
		自動車関連部材のみ100%回復。	建築関係部材が前年比30%減。		
印刷業			講演会・イベントの資料、パンフレット	官公需に期待するが、採算割れ。	
		折込チラシ	イベント用告知チラシ・プログラム		
石油・化学工業		レジャー関連は徐々に回復。	観光バス関係		アパレル関係
		自動車の生産回復で車関連の原料の発注がやや回復。			
窯業・土石製品製造業	電子部品関係	自動車向け・工作機械向けが、前年並みに回復。	半導体製造装置向け	電子部品（携帯電話のインフラや端末向け（5G）関連）	
	中国向け自動車部品	9月以降受注が急拡大（自動車向け）。		自動車関連	旅客、航空業
	小型モーター用部品	小型モーター用部品	燃料ポンプ用部品	E V車用部品	燃料ポンプ用部品



業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少
一般機械器具製造業		自動車向けは9割まで回復。	産業機械向けは6割回復。		
			航空機部品の受注が昨年の10%まで落ち込み。	自動車を受注増期待。医療機器の大量受注も新年度予算待ちで量産予定。	航空機部品
		自動車関連の受注が秋以降は昨年並みに回復。	航空機関連が低調。	自動車関連の受注がより回復する。半導体関連も好調維持又は増加を期待。	航空機関連は2021年も低調が続く。
		自動車関連部品（前年比120%、今年低調期比260%）。顧客の海外生産拠点の生産再開・挽回生産。			リモートワークの一部定着によりオフィスで使用されるOA複合機の需要減退が定着する。
				自動車部品	
					工場の新規設備投資向けポンプ。
		半導体製造設備部品			
		自動車部品中心に回復。 自動車生産増で金型が前年度比60~70%まで回復。	工作機械は、年度後半は営業活動ができないことから減少見込み。	中国の景気回復から、IT関連の工具関連部品の輸出が回復。	
電気機械器具製造業	巣ごもり消費でアミューズメント商品が前年比10%増加。			製造拠点の多極化、一部国内回帰によるFA機器の増加。コロナで特需となった健康商材。新常态で今後も一定の需要を期待。	
		人材派遣業は、派遣先の増産で増員。			
		液晶TV（韓国メーカーからの受注増）		医療・通信（巣ごもり需要）	飲食業向け製品の基板実装。
			新設住宅着工戸数の減少で住宅用電気錠の受注が前年比10%減。		住宅用電気錠の受注は弱含みが続く。
輸送用機械器具製造業				自動車部品はトヨタまでは無理にしても各社回復。	大手企業のリモートワーク等を背景に試作や新規部品は動きが鈍い傾向が続く。
	顧客の海外工場停止に伴いバックアップ生産（特需）が増加。	自動車産業の回復が思った以上に早く10月以降前年並みに回復。	ロボット産業関連	トヨタ自動車の回復に伴い自動車用部品は増加傾向。	工作機械の回復に時間要する。
	海外で密回避に自転車に向いているとの評価から自転車部品加工が今年春比10%増加。			自転車部品加工	
	中国向け輸出車増で前年比15%増	国内向け自動車部品は前年比3割まで落ち込んだが8割まで回復。		自動車モデルチェンジによる新規受注。	

業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少
その他製造業			木材加工量・材木・金物（コロナ禍による住宅着工減）		住宅用木材
	焼肉ロースター用		飲食店向けのコンロ部品や大きなガス台用部品。	年末にかけて多少は鋳物こんろの受注が増加。	
	E C売り上げ（真珠加工）	展示会売り上げ（真珠加工）		E C売り上げ（真珠加工）	
			海外向け鉄道車両部品（前年比50%減）		鉄道車両部品形材
	トヨタ自動車向け部品。特に海外向け前年比3%増加。		繊維機械向け（世界中で衣類需要が激減。前年比50%以下で推移）		衣類
			作業用手袋（製造業の休業・縮小など影響）	熱中症対策商品（オリンピック需要、温暖化）	
		自動車用ゴム（計画比約90%まで回復）			
			マスク着用、在宅ワークの増加でメイク需要減。	ハンドソープ、アルコール	メイク商品
			建築、外構、設備工事関連製品など投資停滞で減少。	土俗・建築用金属製品（建設投資、設備投資の停滞緩和により全般的に回復見込み）	
	ロボット・ロボットカバー（コロナ禍でロボット導入加速）	工作機械用（中国の回復）		ロボット・ロボットカバー（コロナ禍でロボット導入加速）	
		自動車用部品用の金型の受注が前年比30%減。			
建設業			建設受注額は前年比約半減。	建設工事	
		マンション改修工事（前年比90%まで回復）	一般住宅の改修		新築工事の受注
			設備工事受注が前年比3割減。民間設備投資の中止や先送りが主因。		
					官公庁発注の工事
	空気清浄機関連（コロナ対策補助金、店舗環境改善）／設備投資（コロナ前からの大型案件受注残）			空気清浄機関連（コロナ対策補助金活用）	設備工事（現時点での設備投資計画が少ない）
	民間建築工事、マンション建築工事	民間建築工事	公共土木工事		
		9～12月の完成工事は前年並みか若干減に。	中南勢地域の受注減（設備工事）	2021年後半以降は、それまでの設備投資抑制分の受注回復。	

業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少	
建設業	建築工事の受注が減少している。				建築工事	
	住宅リフォーム工事受注増加					
			店舗・施設など非住宅受注案件			住宅受注
	北勢地域を中心に公共建設予算が堅調。			公共工事。北勢バイパスや港湾・河川などの補強等。		
				リニューアル・改修工事がさらに増加。		観光・飲食業による新規、継続の設備投資。
			民間企業の建物建設工事	耐震補強工事		
不動産業	アイスクリーム、テイクアウト商品の一部が10月以降前年比8割増。GoToイート、プレミアム商品券、三重県学生応援券の利用も多い。		飲食店での店内飲食。駅ビル内の店舗であるが駅利用者が回復していない。	貸会議室でのインターネット環境の整備（Wifiルーターの貸出）。会議システムを利用した会議利用。		
	個人の共同住宅	大きい改修工事が多くの建物で終了し入居希望者が徐々に増えている			高額な贅沢商品は販売が難しい。	
	中古住宅の販売が好調。先行き不安で（新築に比べ）低価格住宅に反響あり。	4月頃は問い合わせが少なかったが以降は通常通りに回復。		ローコスト住宅、中古住宅	高額な住宅	
卸売業	コロナ関係検査機器・試薬	一般研究機器・資材				
			自動車、電気用受注30%減。			
	予防衣、マスク、抗菌性菌加工の衣類	ホテル関係のユニフォーム	ホテル関係のユニフォーム	レンタルサービス		
		一部の生産設備メンテナンス用部品	新規の生産設備投資			
	パソコンがGIGAスクールやテレワークのため販売台数が前年比50%増加。	コピー機の保守（使用枚数）がテレワーク等で前年比90%まで減少も95%まで回復。		パソコン（テレワーク等により）	コピー機の保守	
	好調な自動車メーカーの協会会社向け工具販売が増加。			工場稼働率の上昇により工具販売・設備関連が回復。		
			宝飾展出展業者向け半製品（真珠）	宝飾展出展業者向け半製品（真珠）	海外業者向け半製品（真珠）	
			セメント、生コン、建材			
	web会議等で使用するカメラ関連機材。		民間設備工事、電気機器部材	テレワーク関連IT機器、公共工事		
	住宅の新築物件は低調だが、リフォームの引合いが増加（建築用機材・資材）。	工期が遅れていた建築物が動き出し、鋼材加工が増加。		工場の改修や機器類への設備投資		
巣ごもり需要で、量販店と直営店の売上が前年比130%増加。（コーヒー卸）	飲食、宿泊、レジャー向けは4～7月に25～50%売上減も8月以降は徐々に回復。		GoToキャンペーンの延長で、宿泊施設向けは前年以上の効果を見込む。			

業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少	
小売業	家庭用ガス消費量が前年比5%増加。					
	家庭用ガス消費量が前年比5%増。巣ごもり需要。					
	感染症対策用品（学校教材）					
	消費税増税後の減少の反動増もあるが、モデルチェンジした車種を中心にSUVが好調。	新車・中古車ともに5月底に回復。特に中古車が新車を上回る回復。			SUVは当面好調。	
	宅配業者向け（卵）		飲食店向け（卵）			
			自動車燃料（ガソリン、軽油）、タイヤ、オイル。一般消費者の買い方が慎重。		カーメンテナンス系。車を大事に乗ろうという意識の高まりから、車検を含む自動車整備、洗車、ボディコート等への関心やニーズが高まる。	自動車燃料全般。コロナ後も自動車は化石燃料離れて燃料は回復しない。
	おせち料理が前年比20%増。	生活雑貨。巣ごもり需要でキッチン用品などの需要増。	婦人衣料品。外出自粛による。			衣料品
						処方箋枚数。軽い体調悪化では受診しない人が増えた他、生活様式の変化で長期的にも減少予想。
	除菌洗剤・宅配水等		石油製品小売が30%減。			石油製品。自動車の燃費向上による。
	消費税増税後の減少の反動増もあり新車が増加。	新車販売			新車販売	
		新車・中古車の販売（売上）が4～5月は30～35%減、現在は10～15%減まで回復。			新車・中古車の販売の回復に伴い、サービス部門も回復。	
	軽自動車特にN-BOXが増加。サービス、中古車販売も増加。	中古車販売、オークション相場、車検	新車販売		車検、中古車販売	新車販売、板金入庫
	家食増加で生鮮食料品の需要増加。（スーパー）				食料品	
	飲食店のガス使用量					
運輸業・倉庫業		自動車部品の輸送量。中国・北米の自動車販売回復の影響。両地域では既に前年を上回っている。				
			外食産業向け冷蔵・冷凍商品の輸送			
		自動車部品輸送。海上コンテナが9月まで前年比約1/3減。10月より回復。				

業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少
運輸業・倉庫業	宅配路線便（ネット販売商品）の1車単位の積載率が上昇。	養魚飼料の輸送は4～6月の3割減から9～10月は1割減まで回復。			
	GoToトラベルでホテルへの配達量増加。（魚）			スーパーへの配達量は安定。	
		自動車関連が回復。			
観光・宿泊	露天風呂付き客室など高付加価値の部屋タイプや宿泊プランから売れている。	県内客の短期間でのリピートがある。	バリアフリー客の出控えでバリアフリールームの利用が少ない。		団体旅行は減少、カラオケなど利用した宴会需要。
	宿泊客数				
	10月の来場者は前年比29%増。	4～5月の来場者は臨時休業をしたこともあり前年比85%以上の減となったが、8月は前年比約15%減、9月は約22%減、10月は約29%増となった。	4～10月の団体来場者が前年比約86%減。	コロナウイルスの影響がなくなれば、団体客は以前の水準まで回復する。	コロナウイルスの影響がなくなるまでは団体客は回復しない。
	ぬいぐるみが前年比約150%。GoToトラベルの地域共通クーポン利用で。	入場者数は4・5月は前年比9割減も、9月2割減、10月微増、11月微増見込み。GoToトラベル利用で回復。修学旅行の受入れは、従来の京阪神に加えこれまでほとんど利用がなかった静岡や和歌山など近隣県からの来館が増加。	菓子類の土産が売れず。旅行を公言しにくいのか。GoToトラベルで地域共通クーポンが発行された10月1日以降は菓子類の土産の売上もかなり回復。	自家用車を利用した来館が増加しておりその傾向が続く。	感染防止で館内飲食店の座席数を半数程度に抑制。元に戻るまでは回復しない。
新館開業と宿泊料金の改定で増加。	宿泊客が今年4月、5月と大きく減少。6月より上向き7月から前年対比130%アップ。GoTo効果もあり来年2月まで満室。関東エリアも復活してきた。				
飲食サービス業		GoToキャンペーン（トラベル・イート）に関するお客様が増えている。	会社関係などのお客様		
	おせち販売数が40%増加。	来店客数が、9月3割減 10月2割減。	宴会客がほとんどなかった。	テイクアウト	宴会
	持ち帰りの注文が約20%増加。	GoToEatの利用が多い。	会食、宴会が壊滅。	テイクアウト	宴会
	自分用の土産品が増加。4月～10月で前年比20%増。知人等への土産品は買い控え。	高速道路エリア売上が4～8月は前年比4割減も、9・10月は1割減まで回復。三重銘菓など高単価商品が回復。北勢の某SA・PAのGoToトラベル土産クーポンの使用枚数が2週間で3300枚。中日本高速エリアで2番目の使用枚数となった。	観光会社の館内食・積み込み弁当・葬祭関係の弁当前年比9割減。飲食店（和食・レストラン）の会合・法事の会食・パーティー前年比9割減。	従来の土産品（箱菓子）ではなく、三重銘菓やPB商品。マイクロツーリズムによる新たな旅の形のニーズによる道路利用者の増加。観光バス会社の車内コロナ対策の取り組みによるバス催行の実施。	パーティー・会食・宴会。前年比3割減で今後推移。人が集い、密集する事への警戒心や会社の規制等。

業種分類	増加	減少も回復	減少	今後増加	今後減少
技術・専門サービス業、金融業、保険業	事業継続力強化計画講師依頼			BCP関連事業 セミナー等	自動運転の普及による自動車保険。
	経営計画策定から資金繰り計画の需要が高まっている。業務増加に伴う人員増加で高コスト化。	相続等の個人相談が、5月までで5割減であったが前年比100以上に回復。	講演 回数はweb利用で確保しているが、有料配信が出来ていない。	業績管理体制構築支援を要する顧客は、実質無利子・無担保融資を受けた先を中心に金融機関の要請もあって確実に増加する。	廃業・倒産による顧客対象先は減少する。
		小売店手数料売上	観光・宿泊業手数料売上		
		インターネットによる分析依頼・検体の郵送などが増加し徐々に回復。		環境分析。ネット依頼が今後も増加。産廃処理はコロナ終息に伴い増加。	セミナー関連は、コロナウィルス感染症がおさまらないと回復は難しい。
	助成金手続の受注			SDGs、環境関連コンサルティング需要 助成金申請の需要拡大。	
			さく井工事。特に民間受注が落ち込み。		
その他サービス業	TAKEOUT、ホテル事業、レストラン事業	葬祭事業	婚礼事業	TAKEOUT事業	婚礼事業
			新規の担保調査依頼が上半期前年比25%減。コロナ関連融資を優先、設備投資減が要因。	新規の担保調査依頼。経済活動の正常化に伴い徐々に回復見込み。	
			自動車一般整備、建設機械整備が昨年比10%減。人員の不足で失注。		
		コロナ対策を講じた少人数イベント開催	大人数のイベント開催中止。		
		極端に小さな家族葬は親戚などから批判されるため少しずつ規模が拡大。	祭壇料金	お供花	葬儀の参列人数、社葬
	モーターサイクルの粗利益が累計で前年比1割増加。都市部の通勤密対策で2輪車が好調。	マリ関連の一時累計粗利が前年の3割程度まで減少も、4～10月累計で6割まで回復。受注や商談も動きが出てきた	マリ関連の部品や用品は動きが鈍い。	コロナの影響が少なく、他のレジャーへの出費が減少する分、ボートへのニーズは高まっているが、感染再拡大を懸念。	
感染予防対策商品の売上		飲食店向けの売上	感染予防対策商品、清掃	飲食店向け酒の売上	
情報通信業			イベント企画の受注が前年比0%。自治体や民間主催のイベントが全くない		
その他非製造業			船員が渡航出来ず、3～12月の水揚げゼロ。	10月に出港シクロマグロ漁。令和3年1月に水揚げ予定。	